

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信〔米国会計基準〕

平成22年1月28日

上場会社名 株式会社 アドバンテスト

上場取引所 東

コード番号 6857 URL <http://www.advantest.co.jp/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 松野 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部副本部長 (氏名) 中村 弘志

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	31,656	△52.8	△12,967	—	△11,383	—	△12,757	—
21年3月期第3四半期	67,117	—	△15,545	—	△17,977	—	△10,701	—

	1株当たり四半期純利益		希薄化後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△71.38	△71.38	△71.38	△71.38
21年3月期第3四半期	△59.87	△59.87	△59.87	△59.87

(注) 当社は、少数株主持分がないため、米国財務会計基準審議会(FASB)の会計基準(ASC) 810-10(旧FASB基準書第160号)の適用による四半期純利益への影響はありません。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
22年3月期第3四半期	185,147	147,503	147,503	79.7	79.7	825.32	825.32	
21年3月期	202,059	163,616	163,616	81.0	81.0	915.47	915.47	

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	25.00	—	5.00	30.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

当社の配当基本方針および最近の業績動向を踏まえ、期末配当予想を上記のとおり修正いたしました。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	52,000	△32.2	△13,000	—	△11,500	—	△13,500	—	△75.54	△75.54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

昨年10月時点では、半導体の需給動向や半導体関連の設備投資の動向を見通すことが困難であるため、業績予想の開示を行いませんでした。現時点におきましては、第3四半期の受注動向等を勘案し、通期の業績予想を開示することが可能となりましたので上記のとおり開示いたします。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う子会社の異動) 有  
新規 一社 (社名 ) 除外 1社 (社名 株式会社アドバンテストディーアイ )  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 199,566,770株 21年3月期 199,566,770株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 20,844,691株 21年3月期 20,843,298株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 178,722,701株 21年3月期第3四半期 178,725,171株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されております。業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期（平成 21 年 10 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）の状況（単位：億円）

	平成 21 年 3 月期 第 3 四半期	平成 22 年 3 月期 第 3 四半期	前年同四半期比
受注高	89	187	110.4%
売上高	146	129	△11.7%
営業利益	△116	△50	—
税引前四半期純利益	△131	△50	—
四半期純利益	△78	△57	—

当期の世界経済は、中国やインドなどアジア諸国が引き続き高い経済成長率を上げるなど、金融危機による景気低迷からの回復傾向を一段と強めました。

半導体関連市場では、パソコンを始めとした各種電子機器の需要の伸びに牽引され、半導体メーカー各社での業績が回復基調となるなか、増産対応や生産性向上のために、これまで凍結されていた設備投資が徐々に再開されました。それに呼応して当社製品への需要も堅調に推移した結果、受注高と売上高ともに前四半期に引き続き伸長しました。

以上の結果、受注高は 187 億円（前年同四半期比 110.4%増、前四半期比 29.1%増）、売上高は 129 億円（前年同四半期比 11.7%減、前四半期比 15.5%増）となりました。また、海外売上比率は 76.7%（前年同四半期 55.4%）となりました。

利益につきましては、当期の売上高が前四半期より改善したものの、利益を確保するレベルには届かず、営業損失は 50 億円、四半期純損失は 57 億円となりました。

事業のセグメント別概況は次のとおりであります。

## &lt;半導体・部品テストシステム事業部門&gt;

（単位：億円）

	平成 21 年 3 月期 第 3 四半期	平成 22 年 3 月期 第 3 四半期	前年同四半期比
受注高	27	121	343.8%
売上高	75	72	△4.9%
営業利益	△97	△36	—

当事業部門では、各半導体メーカーにおける設備投資を再開する動きが広まったことを受けて、受注は前四半期に引き続き回復傾向となりました。

メモリ半導体用テストシステムでは、高性能パソコンに使用される DDR 3 型 DRAM 向けの半導体用テストシステムへの引き合いが堅調に推移しました。

非メモリ半導体用テストシステムでは、液晶テレビの活況を受けて LCD ドライバ用 IC 向け半導体テストシステムが好調となったほか、高性能パソコンに搭載されるマイクロ・プロセッサ向けのテストシステムの受注が堅調に推移しました。

以上により、当部門の受注高は 121 億円（前年同四半期比 343.8%増）、売上高は 72 億円（前年同四半期比 4.9%減）、営業損失は 36 億円となりました。

## &lt;メカトロニクス関連事業部門&gt;

(単位：億円)

	平成 21 年 3 月期 第 3 四半期	平成 22 年 3 月期 第 3 四半期	前年同四半期比
受注高	17	44	168.8%
売上高	23	39	69.5%
営業利益	△15	△7	—

当部門でも、各半導体メーカーでの設備投資意欲の高まりを受けて、業績は改善しました。なかでも、DDR 3 型 DRAM の市況の好調を受け需要が伸びたテスト・ハンドラが、当部門における売上高の回復に大きく寄与しました。

以上により、当部門の受注高は 44 億円（前年同四半期比 168.8%増）、売上高は 39 億円（前年同四半期比 69.5%増）、営業損失は 7 億円となりました。

## &lt;サービス他部門&gt;

(単位：億円)

	平成 21 年 3 月期 第 3 四半期	平成 22 年 3 月期 第 3 四半期	前年同四半期比
受注高	46	34	△29.3%
売上高	50	29	△42.9%
営業利益	0	5	33.5 倍

当部門では、半導体メーカーでの設備稼働率の復調により、当社の保守サービスへの需要も前年同四半期の受注高や売上高には届かないものの、収益性は大幅に改善しました。

以上により、受注高は 34 億円（前年同四半期比 29.3%減）、売上高は 29 億円（前年同四半期比 42.9%減）、営業利益は 5 億円（前年同四半期比 33.5 倍）となりました。

なお、平成 22 年 3 月期第 1 四半期および第 2 四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成 22 年 3 月期第 1 四半期決算短信（平成 21 年 7 月 29 日開示）および第 2 四半期決算短信（平成 21 年 10 月 28 日開示）をご参照ください。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末の総資産は、現金および現金同等物の減少などにより、前年度末比 169 億円減少し、1,851 億円となりました。負債合計は買掛金の増加および未払金の減少などにより、前年度末比 8 億円減少し、376 億円となりました。また、純資産は 1,475 億円となり、自己資本比率は前年度末比 1.3 ポイント減少し、79.7%となりました。

## (キャッシュ・フロー計算書)

当第 3 四半期末における現金および現金同等物は、前四半期末より 133 億円減少し、894 億円となりました。当第 3 四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純損失（△57 億円）を主な理由として、63 億円の支出（前年同四半期は 72 億円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、78 億円の支出（前年同四半期は 163 億円の支出）となりました。これは主に、短期投資の増加（△71 億円）および有形固定資産の購入（△9 億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8 億円の支出（前年同四半期は 42 億円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払（△8 億円）によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済が景気の底打ち感を見せ、半導体市場規模は再び拡大基調となっています。こうしたなか、半導体メーカー各社は、増産対応や生産性の向上のために半導体製造設備への投資を計画し、さらには微細化など、次世代の半導体の開発や製造に対する設備投資についても積極的な動きを見せ始めております。

このような状況において当社は、昨年 7 月より開始した全社運動「1000Days」を柱とし、さらなる納期対応力の向上、市場ニーズに合致した新ソリューションのタイムリーな提供、半導体関連以外の新規事業の展開、そして全般的なコストダウンへの取り組みなどの活動により、収益性の向上を図りながら、早期の業績回復に努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、売上高は 520 億円、営業損失は 130 億円、税引前当期純損失は 115 億円、当期純損失は 135 億円を予想しております。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

除外 1 社：株式会社アドバンテストディーアイ

平成 21 年 4 月 1 日付で、当社の子会社である株式会社アドバンテストマニュファクチャリングに吸収合併されました。

#### (2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金および現金同等物	89,417	105,455
短期投資	17,049	25,114
売上債権（貸倒引当金控除後）	13,625	10,415
棚卸資産	15,282	9,737
その他の流動資産	5,011	6,586
流動資産合計	140,384	157,307
投資有価証券	7,902	6,679
有形固定資産（純額）	32,944	33,974
無形資産（純額）	1,402	1,470
その他の資産	2,515	2,629
資産合計	185,147	202,059

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
買掛金	8,220	4,767
未払金	689	6,409
未払費用	4,416	6,043
製品保証引当金	2,717	2,811
その他の流動負債	4,151	1,507
流動負債合計	20,193	21,537
未払退職および年金費用	14,779	13,996
その他の固定負債	2,672	2,910
負債合計	37,644	38,443
契約債務および偶発債務		
<b>資本の部</b>		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	40,416	40,320
利益剰余金	180,303	194,848
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 16,249	△ 14,587
自己株式	△ 89,330	△ 89,328
資本合計	147,503	163,616
負債および資本合計	185,147	202,059

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	67,117	31,656
売上原価	38,323	17,291
売上総利益	28,794	14,365
研究開発費	19,644	12,953
販売費および一般管理費	24,695	14,379
営業利益(△損失)	△ 15,545	△ 12,967
その他収益(△その他費用)		
受取利息および受取配当金	1,801	476
支払利息	△ 8	△ 3
その他	△ 4,225	1,111
その他収益(△その他費用)合計	△ 2,432	1,584
税引前四半期純利益(△損失)	△ 17,977	△ 11,383
法人税等	△ 7,374	1,292
持分法投資利益(△損失)	△ 98	△ 82
四半期純利益(△損失)	△ 10,701	△ 12,757

(単位：円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益(△損失)		
基本的	△ 59.87	△ 71.38
希薄化後	△ 59.87	△ 71.38



(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	14,597	12,887
売上原価	12,686	8,615
売上総利益	1,911	4,272
研究開発費	6,072	4,240
販売費および一般管理費	7,469	5,016
営業利益(△損失)	△ 11,630	△ 4,984
その他収益(△その他費用)		
受取利息および受取配当金	548	114
支払利息	△ 2	△ 1
その他	△ 2,008	△ 106
その他収益(△その他費用)合計	△ 1,462	7
税引前四半期純利益(△損失)	△ 13,092	△ 4,977
法人税等	△ 5,361	678
持分法投資利益(△損失)	△ 27	△ 14
四半期純利益(△損失)	△ 7,758	△ 5,669

(単位：円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益(△損失)		
基本的	△ 43.40	△ 31.72
希薄化後	△ 43.40	△ 31.72

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益 (△損失)	△ 10,701	△ 12,757
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	6,956	3,160
繰延法人税等	△ 9,401	△ 299
ストック・オプションによる報酬費用	172	96
売上債権の増減(△増加)	16,648	△ 3,430
棚卸資産の増減 (△増加)	11,144	△ 5,659
買掛金の増減(△減少)	△ 7,143	3,585
未払金の増減 (△減少)	1,061	△ 5,675
未払費用の増減 (△減少)	△ 4,839	△ 1,603
製品保証引当金の増減 (△減少)	△ 1,180	△ 99
未払退職および年金費用の増減 (△減少)	△ 254	781
その他	5,239	2,283
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	7,702	△ 19,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期投資の増減(△増加)	△ 18,417	7,301
市場性のない投資有価証券の売却による収入	34	-
有形固定資産の売却による収入	390	150
無形資産の購入額	△ 568	△ 112
有形固定資産の購入額	△ 4,523	△ 2,067
その他	△ 322	68
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 23,406	5,340
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△ 8,669	△ 1,748
その他	△ 5	△ 6
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 8,674	△ 1,754
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 4,730	△ 7
現金および現金同等物の純増減額 (△減少)	△ 29,108	△ 16,038
現金および現金同等物の期首残高	147,348	105,455
現金および現金同等物の四半期末残高	118,240	89,417

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業別セグメント営業損益

単位：百万円					
前第3四半期連結会計期間					
(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)					
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	7,404	2,189	5,004	-	14,597
セグメント間の内部売上高	98	98	-	△ 196	-
売上高	7,502	2,287	5,004	△ 196	14,597
調整前営業利益 (△損失)	△ 9,665	△ 1,476	17	△ 420	△ 11,544
(調整) ストック・オプション費用					86
営業利益 (△損失)					△ 11,630

単位：百万円					
当第3四半期連結会計期間					
(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)					
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	6,169	3,861	2,857	-	12,887
セグメント間の内部売上高	965	17	-	△ 982	-
売上高	7,134	3,878	2,857	△ 982	12,887
調整前営業利益 (△損失)	△ 3,562	△ 725	543	△ 1,193	△ 4,937
(調整) ストック・オプション費用					47
営業利益 (△損失)					△ 4,984

単位：百万円

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)				
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	42,698	11,175	13,244	-	67,117
セグメント間の内部売上高	448	2,175	-	△ 2,623	-
売上高	43,146	13,350	13,244	△ 2,623	67,117
調整前営業利益 (△損失)	△ 8,277	△ 3,181	1,005	△ 4,920	△ 15,373
(調整) スtock・オプション費用					172
営業利益 (△損失)					△ 15,545

単位：百万円

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)				
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	16,565	7,339	7,752	-	31,656
セグメント間の内部売上高	1,797	17	-	△ 1,814	-
売上高	18,362	7,356	7,752	△ 1,814	31,656
調整前営業利益 (△損失)	△ 8,582	△ 2,044	1,222	△ 3,467	△ 12,871
(調整) スtock・オプション費用					96
営業利益 (△損失)					△ 12,967

- (注) 1. 全社に含まれる営業利益 (△損失) への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。
2. アドバンテストは、Stock・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

## 2. 地域別売上高

単位：百万円

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
日本	6,516	3,001
米州	2,751	1,254
欧州	898	246
アジア	4,432	8,386
合計	14,597	12,887

単位：百万円

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
日本	20,477	7,671
米州	10,794	3,796
欧州	1,792	1,792
アジア	34,054	18,397
合計	67,117	31,656

(注) 1. 外部顧客に対する売上高は顧客の所在地に基づいております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 米州……………米国、コスタリカ共和国等

(2) 欧州……………イスラエル、ドイツ等

(3) アジア……………韓国、台湾、マレーシア、中国等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 平成21年度(2009年度) 第3四半期決算(連結)の概要

### 1. 受注・受注残

(単位:億円)

	平成20年度 (2008年度) 実績	平成21年度(2009年度)実績						平成21年度(2009年度) 業績予想		
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	4Q	通期	前年度比
受注高	501	116	144	187	29.1%	447	△1.1%	203	650	29.8%
受注残	58	98	131	188	43.8%	188	80.7%	188	188	224.5%

### 2. 損益

(単位:億円)

	平成20年度 (2008年度) 実績	平成21年度(2009年度)実績						平成21年度(2009年度) 業績予想		
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	4Q	通期	前年度比
売上高	767	76	112	129	15.5%	317	△52.8%	203	520	△32.2%
売上原価	569	33	54	86	62.1%	173	△54.9%	-	-	-
研究開発費	237	44	43	43	△1.4%	130	△34.1%	-	-	-
販売費および一般管理費	318	44	50	50	0.2%	144	△41.8%	-	-	-
構造改革および減損費用	138	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益 (売上高比率)	△495 (△64.5%)	△45 (△59.3%)	△35 (△31.1%)	△50 (△38.7%)	-	△130 (△41.0%)	-	0	△130 (△25.0%)	-
営業外損益	△33	8	8	0	-	16	-	-	-	-
税引前四半期純利益 (売上高比率)	△528 (△68.8%)	△37 (△49.0%)	△27 (△24.0%)	△50 (△38.6%)	-	△114 (△36.0%)	-	△1	△115 (△22.1%)	-
法人税等	221	1	6	7	-	14	-	-	-	-
四半期純利益 (売上高比率)	△749 (△97.7%)	△38 (△49.7%)	△33 (△29.6%)	△57 (△44.0%)	-	△128 (△40.3%)	-	△7	△135 (△26.0%)	-

※当社は、少数株主持分がないため、米国財務会計基準審議会(FASB)の会計基準(ASC) 810-10(旧FASB基準書第160号)の適用による四半期純利益への影響はありません。

### 3. 財政状態

(単位:億円)

	平成20年度 (2008年度) 実績	平成21年度(2009年度)実績			
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末
総資産	2,021	1,900	1,868	1,851	△0.9%
純資産	1,636	1,589	1,533	1,475	△3.8%
自己資本比率	81.0%	83.6%	82.1%	79.7%	-

(単位:円)

1株当たり純資産	915.47	888.83	857.88	825.32	△3.8%
----------	--------	--------	--------	--------	-------

### 4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	平成20年度(2008年度)			平成21年度(2009年度)		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	25.00	5.00	30.00	5.00	5.00	10.00